



レヴィストロース神
話学第4巻 裸の男
L'Homme Nu 4

英雄イシス、バイト
ゴゴの主体世界

部族民通信 2024年6月

M538 Klamath族伝承 le geste de
Aishishイシスの冒険
M1Bororo族伝承バイトゴゴ
両基準神話の
構造主義から比較

神話の構造

(挿話が主体)

Motivation 動機づけ

対

Dénominateur Commun 共通分母

Bororo族神話 M1 火と水の創造

神話学全4巻の基準神話

バイトゴゴは森に入った母を犯す。父に覚られ試練を受ける。
断崖に取り残され一旦死ぬ。ハゲワシに助けられ、トカゲに
変身して村に戻る。村は洪水に襲われ彼と祖母の守るカマド
火のみが残った。父を殺す。水と火の創造、
村落を遺棄、孤立、祭儀式を伝え帰還 (M2)

« Dans des temps très anciens, il advint que les femmes allèrent en forêt. Un jeune garçon suivit sa mère en cachette, la surprit et la viola. Quand celle-ci fut de retour, son mari remarqua les plumes arrachées, encore prises à sa ceinture d'écorce » (43頁) 昔々、森に入った母を少年(ヒーロー)が追って犯した。夫は、妻の腰ベルトに挟まれている羽飾りに気付いた。

以下は後続(引用無し)：成人の通過儀礼で少年達を集めダンスをさせた。その羽と同じ柄を付けるのは己の子と目撃し、2度目のダンスでも同じ結果が明らかとなった。妻と子の近親姦を恨む。復讐に「精霊の巣」から楽器(hocchet=マラカス)を盗み、持ち帰るよう子に命じます。この困難に子は祖母に相談する。ハチドリ(oiseau-mouche)の助けを借りよと答えが返った。ハチドリは楽器を吊す紐を切った。ジョと音を立て川に落ちる、精霊が飛び出してきたが鳥が回収して子に渡す。父はさらに中マラカス、小マラカスを盗むよう命じ、鳩とバッタの助けを借りて盗みに成功し、父に渡した。

(父親は金剛インコの巣を絶壁に認めた。雛を採取する機会) Les deux hommes sont arrivés au pied de la paroi ; le père dresse une longue perche et ordonne à son fils, d'y grimper. A peine celui-ci est-il parvenu à hauteur des nids que le père abat la perche ; le garçon a tout juste le temps d'enfoncer son bâton dans une crevasse. Il reste suspendu dans le vide, criant au secours, tandis que le père s'en va. 父と子は絶壁の足元に立った。父は長いはしごを立て掛け、子に登れと命じた。子が巣のあるべき高さによじ登るやいなや、父ははしごを外した。子は棒を裂け目に立てて宙吊りになるも身を守った。救いを求めるも父は立ち去った。

Notre héros aperçoit une liane à portée de main ; il la saisit et il se met péniblement jusqu'au sommet. Après s'être reposé, il se met d'en quête de

nourriture, confectionne en arc. Et des flèches avec des branchages, chasse les lézards qui abondent sur le plateau. Il en tue une quantité, dont il accroche le surplus à sa ceinture et aux bandelettes de coton qui enserrant ses bras et ses chevilles. 子は葛の蔦を頼りに絶壁の頂上に這い登った、休むまもなく食物を探す。トカゲが数多く捕れた。食べ残りを腰紐、腕巻、くるぶし紐に取り付けた。

身体にくくったトカゲをは腐敗し、悪臭で気を失った。ハゲワシについばまれて尻がなくなった。そのあと何故かハゲワシ達は少年を担ぎ上げ « les oiseaux se font sauveteurs : avec leur bec, ils soulèvent le héros et le déposent doucement au pied de la montagne » (44頁) 優しく山の麓に送り届けた。

トカゲに変身して村に戻った « il emprunte l'apparence d'un lézard dont le manège intrigue longtemps la vieille femme... » その細工姿が祖母・他の縁者を欺いた(同)。祖母の小屋に住み着き、頃合いを見て人間の姿に戻る。 « une violente tempête accompagnes d'un orage, et tous les feux du village furent noyés, sauf celui de la grand-mère » 洪水が発生し常夜火の全てが消えた、祖母が大事に守った火の一灯だけ残った。祖母に火を村人が貰いに来る。すると父の第2妻(義母)が死んだ筈の義理息子認め、大急ぎで夫に注進する。父は息子の帰還を祝った。

ヒーローは父を誘い出し、牡鹿に変身して沼に突き落とした。父はピラニアに食べられた。 « celle-ci (victime) est dévorée par les esprits qui sont des poissons cannibales. De retour au village, le héros se venge aussi des épouses de son père (dont l'une est sa propre mère) » 返す足で実の母も含め、父の妻達を殺した。

(ヒーローの名はバイトゴゴとM2で伝わるのでその名を用いる)

参考スライド
裸の男1 (前回) から

M538 Klamath族伝承 le geste de Aishishイシスの冒険 (本書 4 2 頁)

あらすじ：姉と弟、とあるきっかけで契りを結ぶが逃げる弟。姉は怒り村に火を放つ。

焼け死んだ母の胎から引き出された兄妹は、母の死をもたらした「火付け犯人は叔母、今は湖底に棲む水鳥アビ」と教わり、網に捕り殺す。妹は兄に「私は貴方の何」と詰問し、配偶の返答を得て夫婦に結ばれ子イシスをもうける。

イシスは雄々しく成長した。義父の策略は樹上の鳥の巣から雛を盗ませる、着衣のままでは登れない、裸になれと命じた。この場面が題名「裸の男L'Homme Nu」の謂れ。イシスは樹上に取り残され、義父はイシスの妻の一人と姦淫を遂げる。

イシスは戻り義父を殺害する (俗神ならば復活する)

義父との争いは埋まらないまま、それぞれが世界創造に励んだ。

以下、原文を楽しんでください。

新大陸、南北神話の比較 共通分母は近親姦の罪と罰

| | M1水と火の創造 Bororo | | M538イシス冒険Klar | | | |
|---|-----------------------|--|-------------------------------|--|--|--|
| 1 | 上下婚 母と少年 少年の孤立 | | 姉弟近親姦 旅での出来事 愛でられ匿われる少年 | | | |
| 2 | 大洪水、火の固 守喪失 | | 村落の破壊係累の殺戮 | | | |
| 3 | | | 兄妹姦 アビ叔母殺害 祖母の復讐 | | | |
| 4 | 鳥の巣あらし 放逐、死、再生 | | イシスの誕生 鳥の巣あらし放逐 | | | |
| 5 | 実父へ復讐 | | 義父との諍い | | | |
| 6 | 少年、村を遺棄、 山野に入る(M2) | | イシス義父、水大地の創造 | | | |
| 7 | 祭儀のために帰 還、儀式の起源 | | 孤立、父子和解の予言 | | | |



| | M1水と火の創造 Bororo | M538イシス冒険Klamath |
|---|-----------------------|-------------------------------|
| 1 | 上下婚 母と少年 少年の孤立 | 姉弟近親姦 旅での出来事 愛でられ匿われる少年 |
| 2 | 大洪水、火の固 守喪失 | 村落の破壊係累の殺戮 |
| 3 | | 兄妹姦 アビ叔母殺害 祖母の復讐 |
| 4 | 鳥の巣あらし 放逐、死、再生 | イシスの誕生 鳥の巣あらし放逐 |
| 5 | 実父へ復讐 | 義父との諍い |
| 6 | 少年、村を遺棄、 山野に入る(M2) | イシス義父、水大地の創造 |
| 7 | 祭儀のために帰 還、儀式の起源 | 孤立、父子和解の預言 |

Chaque détail est
rigoureusement motivé

近親姦・破壊

英雄の誕生（再生）

天地創造
神の沈黙

同一のSchème（伝えかけ）

Motivation（動機づけ）

Motivation

弁証法

Chaque détail est
Rigoureusement motivé

近親姦・破壊

英雄の誕生（再生）

天地創造
神の沈黙

同一のSchème（伝えかけ）
Motivation（動機づけ）

（前スライド）

Motivation

快樂



破壊

活動



沈黙

Motivation
弁証法

Dénominateur
分析

参考スライド
神話北上説から
2の神話の思想分析
スライド

モンマネキ (南米) と月の嫁(北米) の関係

「食事作法の起源」における新大陸、南北での文化と自然の相克

| 創成) | | 神話 (M354, Tukuna族、アマゾン) | 月の嫁神話 (M452, Arapaho族、北米プレーリー) 月の成功、太陽の失敗 | 共通項 |
|--------------|------|--|--|------------------|
| 1 | きっかけ | M1神話 (Bororo族) の洪水後の世界、一家族のみが救い出され孤立する。文化とは火と狩りの技術のみ。 | 天上家族の孤立、月と太陽の不規則活動 | 孤立 |
| 分析的理性で共通項が多い | | | | |
| 2 | 行動 | モンマネキは婚姻同盟を結ぶため、嫁取りを試みる。しかし4例の人獣婚、5例目にして人の女との婚姻にいたる。 | 月と太陽の「地上の女」評定、地上に降りて誘惑する | 同盟の模索 |
| 3 | 判定結果 | 食事作法 (食材の採取、加工、季節性などの取り決め) に違反、いずれも破断になった。 | 咀嚼中の音立て (心地よい音) でカエルは落選、Arapaho 娘は受け入れられる。しかし地上に脱出し、月と人との同盟は破断 | 破断 |
| 4 | 社会創成 | 社会形成の基礎である婚姻同盟は創成できなかった。嫁を探しにモンマネキはカヌーで川を下る。次の段階への移行を示唆。 | 月嫁は子を抱え地に戻るとするが、墜落死する。文化創成は次代に移る。 | 次段階 |
| 5 | 預言者 | 老母 ; 食事作法の厳守を息子に厳命 | 義父が嫁に妊娠、胎児の生育、分娩の理を教える。以来女に月経が発生し、子は10月で生まれる。 | 社会の形成前に文化規範が存在する |

弁証法的解析で一致

弁証法的解析で一致

神話学「食事作法の起源」から
作成・部族民通信 2019年9月30日

参考スライド
裸の男2

| | イシス冒険Klamath | M539空の兄弟 Modoc | | | | |
|---|-----------------------------|-------------------|--|--|--|--|
| 1 | 姉弟近親姦 旅での出来事 | 同左 | « dénominateur commun » 共通分母 系統と同盟 宇宙の創造 | | | |
| 2 | 村落の破壊係累の殺戮 | 蜘蛛の巣脱出が失敗 | | | | |
| 3 | 兄妹姦、子 アビ叔母殺害 祖母の復讐 | 母と娘の抗争 | | | | |
| 4 | イシスの誕生 鳥の巣あらし放逐、死、再 生 | 弟の合体、後に 分離 | | | | |
| 5 | 義父との諍い | | | | | |
| 6 | イシス義父、水大地の創造 | 悪霊退治 | | | | |
| 7 | 孤立、父子和解の予言 | 兄弟星春のお告 げ | | | | |

新大陸、南北神話の比較

| | M1水と火の創造 Bororo | M538イシス冒険Klamath | | |
|---|-----------------------|-------------------------------|--|--|
| 1 | 上下婚 母と少年 少年の孤立 | 姉弟近親姦 旅での出来事 愛でられ匿われる少年 | | |
| 2 | 鳥の巣あらし 放逐、死、再生 | 村落の破壊 係累の殺戮 | | |
| 3 | 大洪水、竈火の固 守と喪失 | 兄妹姦 アビ叔母殺害 祖母の復讐 | | |
| 4 | | イシスの誕生 鳥の巣あらし放逐 | | |
| 5 | 実父へ復讐 | 義父との諍い | | |
| 6 | 少年、村を遺棄、 山野に入る(M2) | イシス義父、水大地の創造 | | |
| 7 | 祭儀のために帰還、 祭儀の起源 | 孤立、父子和解の予言 | | |

| | M1水と火の創造 Bororo | M538イシス冒険Klamath | |
|---|-----------------------|-------------------------------|--|
| 1 | 上下婚 母と少年 少年の孤立 | 姉弟近親姦 旅での出来事 愛でられ匿われる少年 | |
| 2 | 鳥の巣あらし 放逐、死、再生 | 村落の破壊 係累の殺戮 | |
| 3 | 大洪水、竈火の固 守と喪失 | 兄妹姦 アビ叔母殺害 祖母の復讐 | |
| 4 | | イシスの誕生 鳥の巣あらし放逐 | |
| 5 | 実父へ復讐 | 義父との諍い | |
| 6 | 少年、村を遺棄、 山野に入る(M2) | イシス義父、水大地の創造 | |
| 7 | 祭儀のために帰還、 祭儀の起源 | 孤立、父子和解の予言 | |

« dénominateur
commun »

共通分母

系統と同盟



宇宙の創造



| | M1水と火の創造 Bororo | | M538イシス冒険Klamath | |
|---|-----------------------|--|-------------------------------|--|
| 1 | 上下婚 母と少年 少年の孤立 | | 姉弟近親姦 旅での出来事 愛でられ匿われる少年 | 近親姦（母子、兄妹タワケ）は系統への拘泥 少年の孤立は父（別の系統）からの忌避 |
| 2 | 鳥の巣あらし 放逐、死、再生 | | 村落の破壊 係累の殺戮 | 鳥の巣あらしでBororo少年は「巣には雛がない、ありきたりの鳥の巣だ」と言い張り父に礫を投げる。同盟の否定 |
| 3 | 大洪水、竈火の固 守と喪失 | | 兄妹姦 アビ叔母殺害 祖母の復讐 | 少年（と祖母）のみが洪水に備え竈火を守った（火の創造）。火を求める同盟、バイトゴゴは慎重に火を分け与える。 |
| 4 | | | イシスの誕生 鳥の巣あらし放逐 | イシスの鳥の巣あらしの経緯はBororo少年と同一 |
| 5 | 実父へ復讐 | | 義父との諍い | 系統の異なる父（義父）との諍い |
| 6 | 少年、村を遺棄、 山野に入る(M2) | | イシス義父、水大地の創造 | 一旦、天の水（洪水、暴虐）に満たされた地に地の水（河川、利用）を創造する。出奔、孤立 |
| 7 | 祭儀のために帰還、 祭儀の起源 | | 孤立、父子和解の予言 | 沈黙。Bororo族は霊の住む彼の地から、引導人が死者に訪れる（祭儀の起源）イシス預言系統同盟不協和の解消 |

新大陸、南北神話の比較



鳥の巣あらし射手（左上）、バイトゴゴが遺棄されたと伝わる断崖（右上）葬儀準備、右の葉にくるまった影がお迎えの霊（左下）葬儀舞の円陣。ボロロ族の風習

写真は氏の著作から



神話の終焉

Dénominateur commun の論証

神々の沈黙

英雄 バイトゴゴ イシス

孤立

近親姦と世界破滅（歴史神話学派の主張）

それのみではない

他にも具体的肉質として

近親婚、防止の奮闘

復讐するは罪にあり・系統同盟の格闘

天地創造、神々の沈黙

（次回に採り上げる）



レヴィストロース神
話学第4巻 裸の男
L'Homme Nu 4

英雄イシス、バイト
ゴゴの主体世界 了

部族民通信 2024年6月